

平成28年2月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330

熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

熊川宿

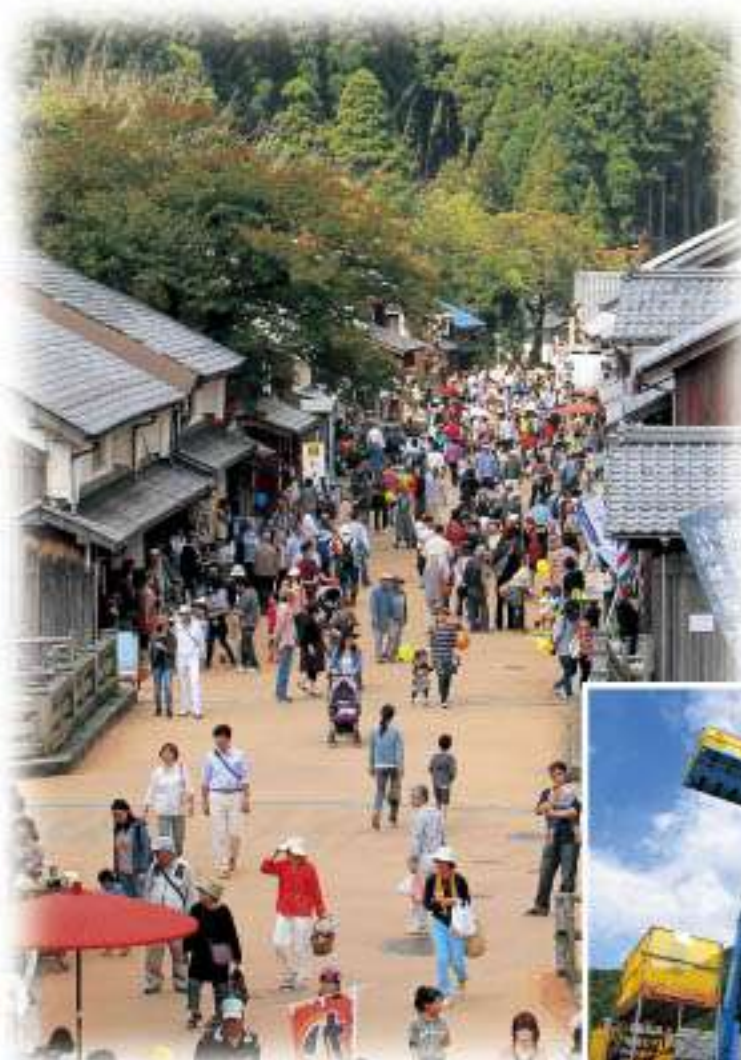
鯖街道

熊川いつぶく時代村大盛況

第16回を数える熊川いつぶく時代村が10月4日(日)に開催されました。

6月から実行委員会を立ち上げ、事務局、企画委員、実行委員、スタッフが会議を重ね準備をしてきました。また、熊川地区民をはじめ、出演者、出店者、各団体、行政、関係各位の多大なご協力に感謝いたします。

当日は、晴天にも恵まれ、例年を上回る多くのお客様にご来場いただきました。
(3ページに関連記事)



熊川いつぶく時代村の賑わい(撮影協力:河内川ダム共同企業体)



協会の平成27年度「あすのまちづくり応援事業」の支援を受けて、熊川いつぶく時代村のブリキの金魚レースや餅つきの実演販売および町並み通信第32号(本誌)の広報活動等に活用しました。
(2ページに関連記事)

NHK大河ドラマ誘致促進協議会からは、熊川ゆかりの人物「豊香」等を大河ドラマに誘致しようと署名活動を行うとともに時代村に助成をいただきました。ブリキの金魚レースでは、午前の第1レースを「NHK大河ドラマ誘致記念レース」、午後の第2レースを「平成30年福井しあわせ元気国体開催決定記念レース」と位置付け、大型看板やのぼり旗を設置して賑々しく実施しました。

おかげ様でどちらのレースも早々にエントリーが完売し、白熱したレースが展開されました。

また平成26年度にまちづくり委員会が、ふるさとづくり大賞の団体表彰(総務大臣賞)を受賞し、その活動を映像化していただくことになり、NPOネットジャーナリスト協会の大野涼子さんが時代村に合わせて取材に來られました。
(2ページに関連記事)

一方、河内川ダム共同企業体さんは、バザー出店と共に高所作業車を使って試乗体験を実施してくださいました。写真はお昼前の賑わいで、上空から見る熊川宿の町並みは壮観でした。

目次

- 熊川いつぶく時代村大盛況……1
- 寄稿文・活動報告……2
- 熊川いつぶく時代村……3
- 事業報告・活動報告……4
- 活動報告・話題……5
- 活動報告・お知らせ……6

大好きな熊川宿

熊川小学校六年 西村 さくら

私がすんでいるこの熊川宿は、昔からの歴史があり、自然でいっぱいです。日本遺産にも認定され、今も観光客がたくさん訪れます。

熊川宿は、イベントもよく開催されます。とくに「熊川いっぽく時代村」は毎年たくさんの人でにぎわっています。観光客が訪れることはとってもうれしいです。

私たちは、いつも熊川宿であそびます。若松屋でおかしを買って食べたりと、とてもたのしくすごしています。町並みもいろいろ、熊川の人々がとてもやさしく接してくれます。それも熊川のいいところではないかなと思います。

私は、熊川宿が大好きです。歴史や自然、やさしい人々のおかげでなりたっている熊川に、もっとたくさん観光客がきてほしいです。そして何年経っても今の熊川宿のままでいてほしいと思います。



私達の熊川

熊川小学校六年 松見 遥

私が住んでいる熊川宿は、昔からの民家が残っていて旧街道に沿った前川が流れています。そして熊川宿は重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

私は、熊川にとってもほこりを持っていました。でもこの熊川の町並みを守るためにたくさんの方の支えがあることを知りました。

たとえば熊川のオスメスポーツの松木神社のそうじをしたりしています。そのようにして熊川に住んでいる人達は昔からのこの町並みを大切に守っています。

そのようなことをしている方達が熊川にいるので私はとても熊川にほこりを持っています。

そのほかにも私にはほこりに思っていることがあります。それは毎年10月に行われているこうれい行事の「熊川いっぽく時代村」です。たくさんの方がおとずれるとても楽しいおまつりです。こんな楽しいおまつりがある熊川はみんなにじまんでくれる所です。私は熊川が大好きです。

平成30年開催の「福井しあわせ元気国体」の準備が進むなか、県内各地で様々な活動が展開されています。熊川宿まちづくり委員会が、今年度「あすのまちづくり応援事業」の支援を受けて、熊川いっぽく時代村のイベント等に活用させていただきます。

(一社)あすの福井県を創る協会

あすのまちづくり応援事業

元気なふるさとづくり
リーダー研修会

10月15日・福井県生活学習館

同研修会に宮本会長が出席しました。福井市和田地区やWACおばまの活動発表がありました。

元気なふるさとづくり
県民のつどい

12月5日・福井県産業会館本館
県内各団体の表彰や実践発表、パネルディスカッションが行われました。

なかでも勝山北部中学校生徒さんの「北中まちづくりプロジェクト」の活動や発表に感銘を受けました。

熊川宿からは役員3名が出席し、今年度行なった事業の報告ポスターを掲示しました。



(一財)地域活性化センター

「地域づくりTV」取材対応

YouTubeの「地域づくりTV」の取材で、NPOネットジャーナリスト協会の大野涼子さんが、時代村に合わせて取材に来られました。

1日目、早速会議に入り、熊川宿まちづくり活動の経緯を説明。宿内を取材されました。

2日目、時代村当日の様子を取

材。来訪者

や各まちづくり団体代表者にインタビューを行っていました。

3日目、瓜割の滝や三方五湖を撮影されました。ハーブドスケジュー



ールにもかわらず重い機材を持って精力的に動かれました。

後日、テスト映像を拝見し、一同プロフェッショナルな出来映えに感動しています。まちづくり活動をわかりやすくまとめたいただき、今後の研修対応資料としても活躍しそうです。

映像は12月中旬から公開されており、YouTubeの「地域づくりTV熊川宿」検索でご覧になれます。

熊川 いっぷく 時代村

熊川いっぷく時代村

と き：平成27年

10月4日

ところ：鯖街道 熊川宿

(横井町三方上中郡若狭町熊川)

主催：熊川区・熊川いっぷく時代村実行委員会

共催：若狭町

後援：NHK福井放送局・福井新聞社・
FBC・福井テレビ・FM FUKUI・
チャンネルO・MMネット

尚書：筒井康平 福嶋

晴天に恵まれ、多くのお客様にご来場いただきました。



オープニング

オープニングでは、来賓の挨拶に続き、若狭ウインドアンサンブルのミニ演奏会や出演団体の紹介と舞台披露がありました。



子ども語り部

子ども語り部で熊川小児童が元気に発表！喜プリンも10分で完売しました。



ゆるキャラと一緒にみんなで山車を曳きました。子ども祭り場子に熊川地区の児童も加わって、賑やかな掛け声と証の音が響いていました。

ゆるキャラと山車もひこう

賀島屋さんは今年も元気いっぱい！人力車もパワッパワッと人込みをより分けて、風情ある街道を軽快に走っていました。



毎年超人気のブリキの金魚レース。午前は「NHK大河ドラマ縁起記念レース」、午後は「福井しあわせ元気国体開催決定記念レース」として実施。例年にも増して大きな盛り上がりを見せました。

ブリキの金魚レース



炭風呂



バルーンアート

江戸巻細工、似顔絵、バルーンアートも行列が絶えない人気あり。町家には民謡な三味線の音が響いていました。



三味線体験



似顔絵



射的

射的、福井、昔遊びも子どもたちに人気！目当ての景品はゲットできたかな？



餅つき

長狭鍋、恵酒、餅つきも完売。バザー各店も特産品が揃い、時代村の秋味を堪能されたことと思います。



ニジマスつかみどり

ニジマスつかみどりは親子連れに超人気！焼きたてを味わっていました。子供も熱い焼きも買ぶように売っていました。

若狭町と近隣市町のゆるキャラたちが登場。ふれあったり記念写真を撮ったりと大人気。赤ふん訪や今年もキレッキレでした。



ちんどん屋

昨年に続き、立命館大学サークルの出演協力で和太鼓、ちんどん屋、マジックイベントを盛り上げていただきました。はじける笑顔が印象的でした。

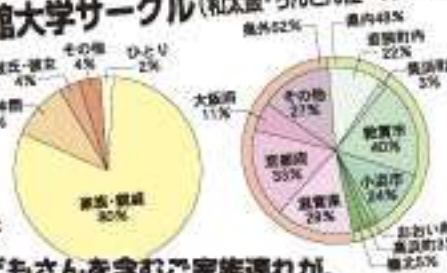


和太鼓

来場者アンケートによる 人気イベントランキングトッス3

- 第1位：熊川宿名所めぐりスタンプラリー
第2位：ブリキの金魚レース
第3位：立命館大学サークル(和太鼓・ちんどん屋・マジック)

来客状況



子どもさんを含むご家族連れが、県内外の各方面から多数来られました。

※この事業の一部は、(一社)あすの福井県を創る協会の平成27年度「あすのまちづくり応援事業」で実施しました。

金堂地区の子どもたちが熊川宿で交流

とき：平成27年8月2日(日)

共催：金堂まちなみ保存会・金堂子ども会

協力：熊川宿まちなみ保存委員会・熊川小学校・若狭町歴史文化課

滋賀県東近江市五個荘金堂地区は、熊川宿と同様、国の重伝建地区に選定されており、これまでもそれぞれを視察するなど交流がありました。

を進めてきました。

当日は、猛暑の中、総勢50名が道の駅に到着。挨拶の後、宮川副会



長のガイドで、熊川番所、大岩を見学して、旧逸見勘兵衛家前で熊川小児童たちと合流、みんなで記念写真に収まりました。

熊川小の児童たちは旧逸見勘兵衛家と松木神社に分かれて、子ども語り部として自分たちで調べたことを元気に発表しました。

続いて、倉見屋、宿場館、葛加工所で説明を受け、昼食場の児童館へ向かいました。途中、

前川に足をつけて涼をとっていました。

一昨年、熊川宿で開催した伝建協全国大会において、熊川小児童による子ども語り部に感銘されたことをきっかけに、NPO法人「金堂まちなみ保存会」設立20周年および「まちなみ探検10回」の記念事業として、今回のまちなみ探検を企画されました。コースの下見など、5月からお互いの役員が準備

児童館では、それぞれの小学生、滋賀県立大学学生、保護者や保存会メンバー、各市町職員、熊川宿スタッフの紹介があり、清八さんのお弁当で交流昼食会となりました。



続いて子ども語り部活動のDVD鑑賞、曾我廼家福輔氏による熊川いっぶく時代村の活動紹介がありました。

午後からは、金堂の小学生たちが絵手紙の

制作に取りかかり、友達や家族に宛てた絵手紙やメッセージカードを仕上げました。

最後に、玄関でお別れの挨拶をして解散しました。ご一行は全員元気で帰郷されたとのことでした。



当日は、猛暑との闘いでしたが、大過なく終わられほつとしているところです。

また熊川小児童さんや先生方には、サマーキャンプ直後の参加ということで大変お疲れ様でした。後日、金堂の皆さんがまとめられたメッセージカードを送付いただきました。

「金堂まちなみ保存会ブログ」
http://kondomachinamihosozokukai.shiga-saku.net

熊川宿お店紹介ホームページ制作

kumagawa-juku.com



お店紹介マップは、ユニークなキャッチフレーズでお店の特徴や業種を所在地とともに紹介しています。

情報ページでは、各お店の販売品目や定休日などを掲載し、各お店の専用HPへリンクしています。ご来店の際、スマホの提示でちよつとしたうれしい特典が受けられるお店もあります。

今後、利用者の反響を参考にし、さらにパワーアップしていきたいと考えています。

併せて、冬期間に路線バスで来られるお客様のために、雪道情報の案内と注意喚起を掲載しました。これらの活動は、宮本哲男氏のFacebookでも閲覧できます。

話題 TOPIX

光水画廊オープン

(8月8日・元熊川交番跡地)

熊川宿内に画廊が開設されました。子どもたちの絵、障がいをもつ方々の作品、現代美術を3本柱に、常設展や特別展が企画開催されています。入場無料



鯖街道わんぱく駅伝

(9月13日・熊川宿内)

熊川宿の旧街道をコース会場に行われ、町内の小学生が低学年と高学年に分かれ、家族やチームの熱い声援を受けて元気にたすきをつなぎました。



まちなみ芸術祭2015

(9月26日～・熊川宿内)

現代美術の秋吉和城氏、カイトサイコ氏、立体造形の壬生真代氏による作品展示が宿内3ヶ所で行われました。

10月11日には、作者によるアーティストトークが行われ、自己紹介や作品の制作過程をお話いただきました。その後、壬生真代さんの作品を見ながら解説がありました。



Bugatti(クラシックカー)来訪

(10月12日・熊川宿内)

軽快なエンジン音を響かせながら約60台のイタリア車が中ノ町へ集結しました。うわさでは数億円する車もあるとか。超お金持ちの一行でした。



全国街道交流会議若狭路大会

(10月16・17日・若狭町・小浜市)

シンポジウムと現地見学会が開催されました。街道と地方創生、日本遺産を手がかりに新たな往来文化についての基調講演や分科会で研修しました。

17日には現地見学会が行われました。



大食い王予選 TV収録

(12月5日・熊川宿内)

テレビ東京の「元祖!大食い王決定戦」福井予選のTV収録が行われました。子ども祭り囃子を披露し、MCを務める安田大サーカスの団長が駕籠に乗って登場するなどイベントを盛り上げました。



ケイトウの花運動

熊川宿では昨年度に続き、軒先を花で飾ろうと、ケイトウの花を咲かせることにしました。福井県総合グリーンセンターの支援を受けてまちづくり委員で行いました。

6月28日、七夕飾りの前に、ケイトウの種まきを行いました。



7月26日、区民総出の清掃活動の後、移植した花苗を各家へ配付しました。

9月初旬から10月にかけて、各家庭の軒先で真っ赤なケイトウがきれいに咲きました。



防災まちづくり研修・取材対応

まちづくり研修に加え、防災活動を視察研修される団体が増えています。熊川区では、自主防災会を主体に、女性スタッフや消防団員にも参加してもらい、意見交換を通して研修を深めています。

今年度後半、次の各団体が
お見えになりました。

7月20日、西脇市芳田地区区長会
8月29日、各務原市鷺沼南町
10月24日、東藤島地区協議会
11月15日、織田地区推進協議会
11月30日、豊田市足助伝建地区

類塾生(大阪)夏期合宿

8月10・11日・まちづくり委員会

初日は、まちづくり全般について説明の後、伝統芸能保存会の練習を見学されました。翌日は、熊川小学校児童による子ども語り部の発表を聞いてもらいました。

上中学校芸術部が新聞作り

8月25日・まちづくり委員会

「郷土新聞 コンクール」への応募をきっかけに、上中学校芸術部の生徒さんが熊川宿を題材に新聞作りを行いました。当日は、宮川さんの説明で熊川葛や町並み保存について学習されました。



実用情報誌「一個人」取材

10月20日・まちづくり委員会

2016年1月号「日本遺産の旅」が掲載されるとのことで熊川宿へ取材に来られました。平日の穏やかな町並みや番所、旧逸見勘兵衛家を取材いただきました。



8/13
15

街かど陶の灯り展 H27

(熊川宿街かど陶の灯り展実行委員会)



お盆の風物詩「陶の灯り展」が行われ、街道沿いに数多くの作品が並びました。初日は雨で中止でしたが、8月22日からは、バレーア若狭の陶芸グループどろんご会会員の作品展が旧逸見勘兵衛家蔵ギャラリーで開かれました。重厚な和の空間に幻想的な灯りが点っていました。

8/15

納涼盆踊り

(熊川区・熊川宿伝藝芸能保存会ほか)



流行踊りに続き、伝統芸能保存会メンバーが、毎月練習しているてっせん踊りを披露しました。熊川音頭では、子どもたちも加わって、多くの区民の踊りの輪が広がりました。

10/22

文化庁島田調査官を囲む会

(まほろくの委員会)



小浜西組と交替で開催。今回は熊川宿で開かれました。島田先生は「コンセプトがあり、往來の町並みがあるからこそ、日本遺産に認定された」「町並みもきれいになったが、まちの人が明るく元気になった」と話されました。県教育庁文化財調査員の今出さんは「越前にも伝建選定を目指したい」と話されました。その後、懇親会で盛り上がりました。昼間の現地視察では、修理中の白石神社社務所などでご指導をいただきました。

11/21

河内川ダム建設現場見学

(熊川区ダム対策特別委員会)



県道沿いの見学広場で工事中のダム見学と完成までのDVDを鑑賞、続いてダム本体工事現場へ進み、コンクリート打設の様子や構造、止水技術などを教わりました。11月2日には定礎式が執り行われています。

11/28

熊川音頭でツアー客を歓迎

(熊川区・女性の会・伝統芸能保存会・熊川宿観光組合)



関西のバスツアーグループ一行約270名が熊川宿を訪れました。熊川女性の会による「長操端」のおもてなしと、伝統芸能保存会やまちづくり委員、小学生による熊川音頭を披露し来訪者を歓迎しました。また熊川宿観光組合員の特設ブースが設けられ、焼き鯖などの特産品が販売されました。

12/28

年末夜回り警戒

(熊川区・上中消防団ほか)



雪の無い穏やかな年の瀬となった28日、恒例の年末夜回り警戒が行われ、区民や消防団員が上ノ町と下ノ町の端から児童館を目指して「火の用心」を呼びかけ歩きました。区民らは児童館横に集結し、森下町長、清水町議会議長ご臨席のもと、上中消防団の年末特別警戒出発式に参列しました。



鯖街道熊川宿 生き活きProject

(若狭町)

若狭町が進める日本遺産・鯖街道を活かした「地方版総合戦略」で、国の地方創生交付金を受け、食の国際シンポジウム、特産の葛を使った新商品開発、空き家対策などを行います。

3月11～13日に行う国際シンポジウムでは、発酵文化をテーマにパネルディスカッション等を行い、日本の食文化の魅力を発信します。県からは日本遺産活用推進事業として、道の駅のリニューアルが計画されています。

あとがき

秋の恒例イベント「熊川いっしょく時代村」は大盛況のうちに終えることができました。関係各位のご協力に心より感謝いたします。夏から秋にかけて、イベントや恒例行事はもとより、まちづくりや防災研修、ツアー客の歓迎、TV収録の対応に至るまで、実に様々な受け入れが多く、ことのほか多忙な日々でした。

時代村に見られるように、住民が一体となった取り組みは素晴らしいものがあります。特に地区の小学生が参加する祭り囃子や子ども語り部は、歴史的環境を活かした地域学習として、熊川ならではの取り組みであり誇りでもあります。世代を超えてみんなが協力して一つのことを成し遂げることには達成感と地域の和、人の和を感じます。「お店紹介HP」では、各商店とともにおもてなしの心を大切に、さらなる活性化を目指していきたいと考えています。

早くも今年秋に行われる記念事業の計画が進んでいます。今後も無理することなくみんなで力を合わせ、楽しみながら活動を続けていきたいと思っております。(編集委員)